

## 令和7年度施設自己評価の結果について

公表：令和 8 年 1 月 21 日

事業所名

天竜厚生会ちやるか

国から示された「児童発達支援ガイドライン」に基づき、事業所職員が自己評価を実施しました。  
 事業所における課題点及び改善すべき点を今一度確認し、今後の当会及び当事業所の運営に活かしていきます。  
 今後ともご家族様と共によりよい事業所を目指していきたいと思っておりますので、ご理解・ご協力いただきますよう、お願いいたします。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切である	11	0	感覚過敏な子や、クールダウンが必要な子のため、静かに過ごせる個別ブースや場所を確保している。	
	②	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切である	11	0		
	③	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている	10	1	視覚的なスケジュールを活用している。玩具や教材をケースや箱にまとめるなど、整理し一目でわかるように提示している。	一人ひとりの特性に応じ、物的環境やスケジュールの提示方法を整えて行きます。また、こどもの言動から最適な環境になっているのかを常に見直しを行っていきます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているまた、こども達の活動に合わせた空間となっている	11	0		
	⑤	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっている	11	0		
業務改善	⑥	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	9	2		全員参画型のPDCAサイクルの回し方を見直し、対話を通じて風通しのよい職場作りを目指していきます。
	⑦	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている	9	2	年一回、利用者満足度調査としてアンケートを実施し、会議等で結果や意向を周知している。	調査結果の分析や課題の特定を行い、具体的な改善目標を掲げて取り組んでいきます。
	⑧	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている	10	1	職員間で小さなチームを作り、意見を言いやすい環境を設定している。	
	⑨	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	8	3		現状第三者による外部評価を受審していません。
	⑩	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されている	11	0		
	⑪	適切に支援プログラムが作成、公表されている	11	0		計画案や方針等の公表の仕方を工夫していきます。
	⑫	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	11	0		
	⑬	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われている	11	0		

適切な支援の提供	⑭	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われている	11	0		
	⑮	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認している	10	1		フォーマルとインフォーマルを統合させ、多角的なアセスメントが実施できるよう工夫していきます。
	⑯	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	11	0		
	⑰	活動プログラムの立案をチームで行っている	11	0	支援計画との連動性を高めている。	
	⑱	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	11	0		
	⑲	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われている	11	0		個別・集団の組み込みの根拠を明確化し、支援をより充実できるよう努めていきます。
	⑳	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている	11	0		
	㉑	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	5	全員参加は難しいが、情報共有の機会を設けている。 その日の行えない時には翌日も申し送りや紙面で伝達し合っている。	方法を見直し、質の高い振り返りを目指していきます。
	㉒	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9	2		日々の記録を基に支援の効果を検証し、具体的な改善策に繋げられるよう努めていきます。
	㉓	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている	11	0		
関係機関や保護者と	㉔	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画している	11	0		
	㉕	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている	10	1		情報共有に留まらず、連携を継続できるよう努めていきます。
	㉖	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているまた、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	10	1	園を訪問し、普段の様子を伺いながら移行に向けた課題や目標を共有し、支援の方向性を統一している。	
	㉗	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	11	0	サポートかけはしシートに関して、保護者に丁寧に説明し活用を勧め、引継ぎを行っている。	
	㉘	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けている	7	4	地域の事業所連絡会に定期的に参加し、事例を通してセンターの助言を参考にしている。	連絡会や事例検討で得た専門的知見を、事業所内で共有し、支援の質を高めていきます。

の 連 携	⑲	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会がある	3	8	併設されている事業所が主催した夏祭りに近隣の子ども園を招待し、同じ活動を楽しんだ。	地域の公園等の公共施設を利用し、公共のルールを学ぶ機会や、多様な人と関わる経験を積みながら活動していきます。
	⑳	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	7		日頃の様子を伝えるだけに留まらず、状況や課題を確認し理解を深められるよう努めています。
	㉑	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っている	7	4	ペアレント・トレーニング等は実施していないが、おしゃべり会や参観会で情報提供をしている。	連絡帳や日々の対話を年、ご意見を伺いながら、各家庭に最適な形でサポート体制を整えて行きます。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	㉒	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	11	0		
	㉓	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けている	11	0		こどもの意向を確認する機会や仕組みを検討していきます。
	㉔	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	11	0		
	㉕	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っている	11	0	日常会話の中で悩みを打ち明けやすくなるような環境づくりを意識している。	
	㉖	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているまた、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしている	10	1	保護者同士が集まり情報共有する場を年3回実施している。	行事にきょうだいや家族を招待するなど、共に楽しむイベントや居場所作りを検討していきます。
	㉗	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	11	0		
	㉘	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信している	10	1		保護者の方にとって価値のある情報を提供できるよう、頻度や方法を検討していきます。
	㉙	個人情報の取扱いに十分留意している	11	0		
	㉚	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	11	0		
	㉛	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている	9	2		
非 常 時 等 の	㉜	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	10	1		マニュアルが現場で活用され、保護者との共通理解が深まるよう、周知の仕方を見直ししていきます。
	㉝	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	11	0		
	㉞	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	10	1	定期的に聞き取りをしている。	聞き取った情報を周知し、災害時等に確認できる仕組みを構築していきます。
	㉟	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	10	1		アレルギー児の受け入れ体制やマニュアルの確認等を定期的実施し、安全管理へに寄岐市を高めています。
	㊀	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われている	11	0		

対応	④7	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか	10	1		安全確保について、家族の不安や意見の吸い上げも行い、安全計画に反映させていきます。また、視覚的にわかりやすく周知するよう工夫していきます。
	④8	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしている	11	0		
	④9	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	11	0		
	⑤0	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	9	2		やむを得ず身体拘束を行う必要が生じる場合のプロセス等の研修を実施していきます。

